

「救い主にお会いしたので」(救い主降誕のできごと⑧)

ルカの福音書 2 章 21～38 節



世界のキリスト教会では 12/25 からエピファニー (1/6) までを降誕節としてクリスマス祝います。私たちの日本では 24 日のクリスマスイブを過ぎると街の様子は年末/お正月モードに切り替わり、私たちも休暇や帰省のことに心が向かいます。

しかしクリスマスの喜びはその日を待ち望むこととともに、実現したことをじっくりと味わうことにあります。今日は、シメオンとアンナが幼子イエスさまに出会った姿から、救い主にお会いできたことの意味を味わいたいと思います。

救い主の降誕をお祝いすることができるので、

① 私の人生は満足です

“主よ。今こそ私は安心して死ねます。” 29、リビングバイブル訳

“信仰によって、あなたがたの心のうちにキリストを住まわせてくださいますように。そして、愛に根ざし、愛に基礎を置いているあなたがたが、すべての聖徒たちとともに、その広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解する力を持つようになり、人知をはるかに超えたキリストの愛を知ることができますように。そのようにして、神の満ちあふれる豊かさにまで、あなたがたが満たされますように。” I^コ3:17-

② 神のご計画は進められていると信じることができます

“私の目があなたの御救いを見たからです。” 30

“私たちの間で成し遂げられた事柄については、初めからの目撃者で、みことばに仕える者となった人たちが私たちに伝えたとおりのことを、多くの人々がまとめて書き上げようとすでに試みています。私も、すべてのことを初めから綿密に調べていますから、…” 1:1-

“そしてイエスは言われた。「わたしがまだあなたがたと一緒にいたころ、あなたがたに話したことばはこうです。わたしについて、モーセの律法と預言者たちの書と詩篇に書いてあることは、すべて成就しなければなりません。」それからイエスは、聖書を悟らせるために彼らの心を開いて、こう言われた。「次のように書いてあります。『キリストは苦しみを受け、三日目に死人の中からよみがえり、その名によって、罪の赦しを得させる悔い改めが、あらゆる国の人々に宣べ伝えられる。』エルサレムから開始して、あなたがたは、これらのことの証人となります。” 24:44-

③ 暗闇の中でも光を見る人生を歩むことができます

“御救いはあなたが万民の前に備えられたもので、異邦人を照らす啓示の光、御民イスラエルの光栄です。” 31-32

“イエスは再び人々に語られた。「わたしは世の光です。わたしに従う者は、決して闇の中を歩むことがなく、いのちの光を持ちます。」” 3^ヨ8:12

◎思い巡らしてみましよう

・イエスキリストが「救い」であるということは、私にとってどのような意味を持つのでしょうか。